

平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（兵庫県）

－ 予想収穫量（主食用）は17万4,700 t の見込み －

1 作付面積

平成30年産水稻の作付面積（子実用）は3万7,000haで、うち主食用作付見込面積は3万5,500haが見込まれる。

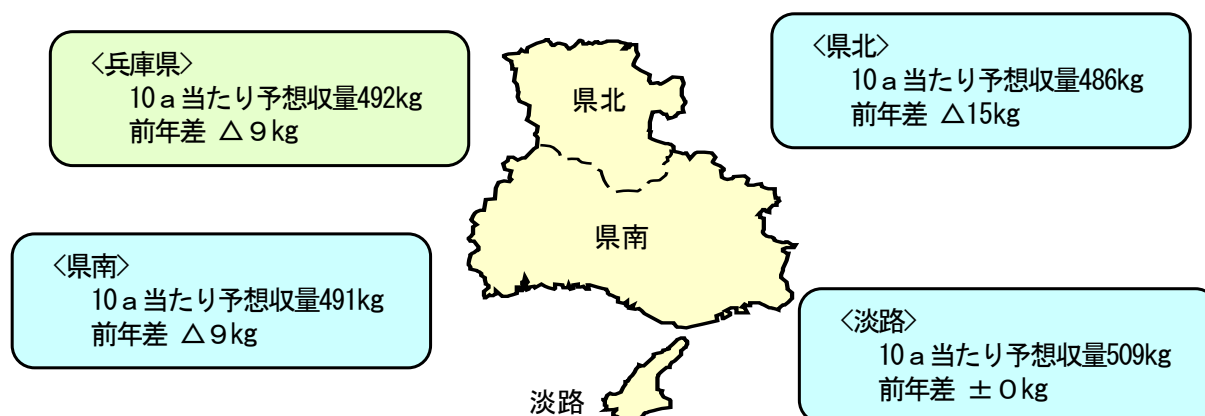
2 作柄概況

- (1) 全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ数ともに平年並みとなったことから、兵庫県全体では「平年並み」となった。
- (2) 登熟は、出穂期以降、気温及び日照時間がおおむね平年を上回って経過したものの、9月は平年を下回って経過したことから「やや不良」が見込まれる。
- (3) これらのことから、10月15日現在の10a当たり予想収量は492kg（前年産に比べ9kg減少）が見込まれる。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は98となる見込み。
- (4) 作柄表示地帯別の10a当たり予想収量は、県南は491kg（前年産に比べ9kg減少）、県北は486kg（同15kg減少）、淡路は509kg（前年産並み）が見込まれる。
- (5) 被害は、山間部を中心に獣害等の発生がみられる。

3 予想収穫量

以上の結果、予想収穫量（子実用）は18万2,000 t（前年産に比べ1,400 t 減少）が見込まれる。うち、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は17万4,700 t が見込まれる。

図 作柄表示地帯別の10a当たり予想収量（10月15日現在）



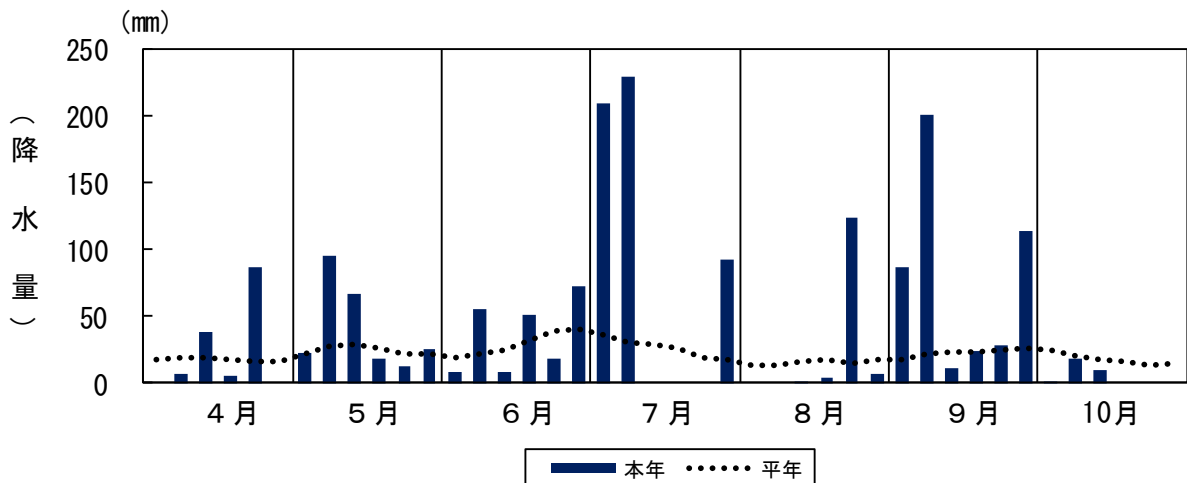
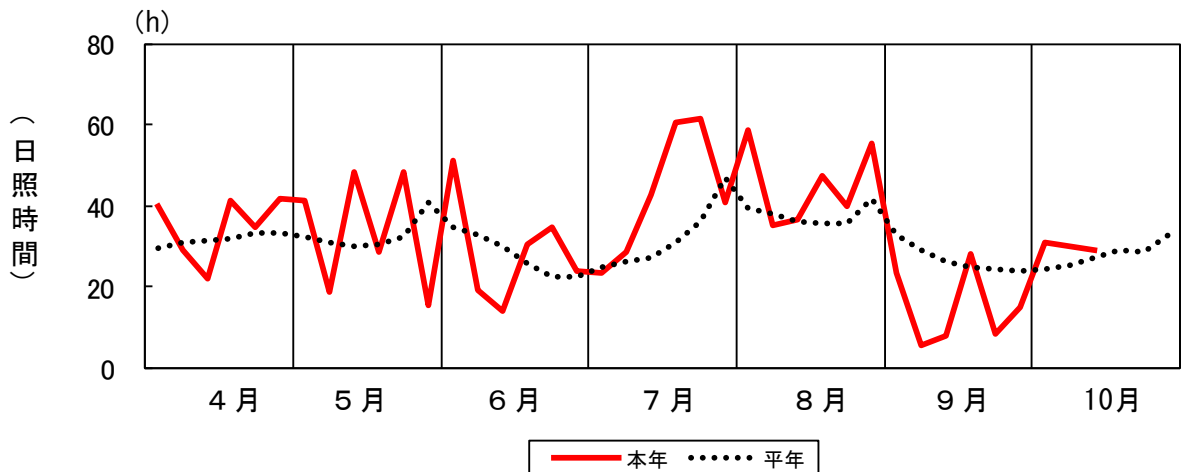
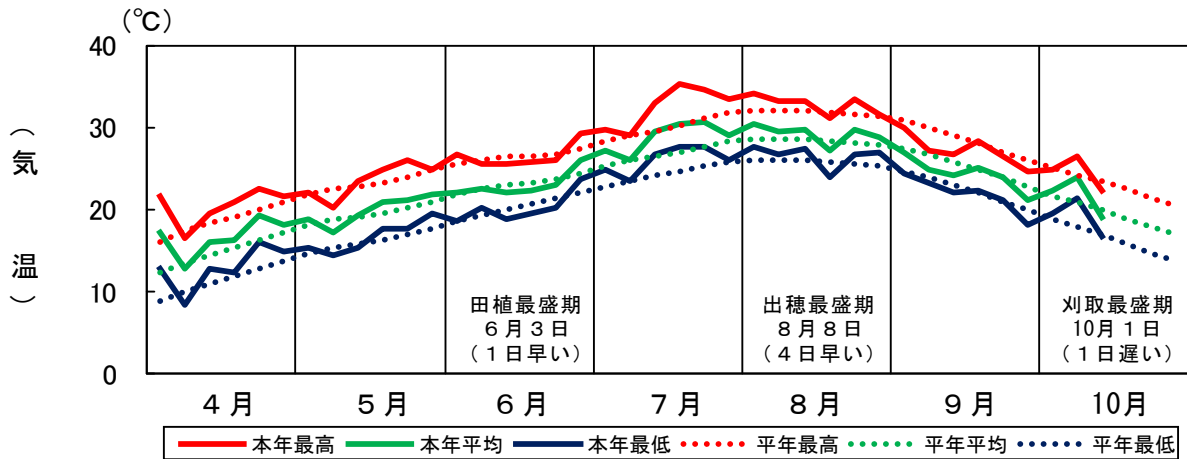
- 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終わっていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
- この資料は、「平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（近畿）」（平成30年10月31日公表）の補足資料として作成したものである。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

【参考】

兵庫県（神戸市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注： 田植期、出穂期及び刈取期の最盛期は、県平均の期日である。

なお、（ ）は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 兵庫県拠点 統計チーム

電 話：（代表）078-331-9941 内線 266
（直通）078-391-2873

F A X： 078-392-7558